

# 和痛分娩ってなに？



高知医療センター 産婦人科 高橋成彦

## はじめに

- 和痛分娩と聞いてもピンとこないけど、無痛分娩は聞いたことがある、という方がほとんどだと思います。
- 無痛分娩については、日本産科麻酔学会のHPにとてもわかりやすい説明が載っていますので、よかったらそちらをご覧くださいになってからこちらをご覧くださいになるとより違いが分かりやすいかもしれません。  
(<https://www.jsoap.com/general/painless>)



# どうしてお産は痛いのか？

- 分娩は3つの段階に分けられます

第1期：陣痛開始から子宮の出口が完全に開く(子宮口全開大)まで

第2期：子宮口全開大から赤ちゃんが産まれるまで

第3期：赤ちゃんが産まれてから胎盤が出てくるまで

- 分娩第1期には、子宮が収縮することや子宮の出口が引き伸ばされることにより下腹部に痛みが生じます。

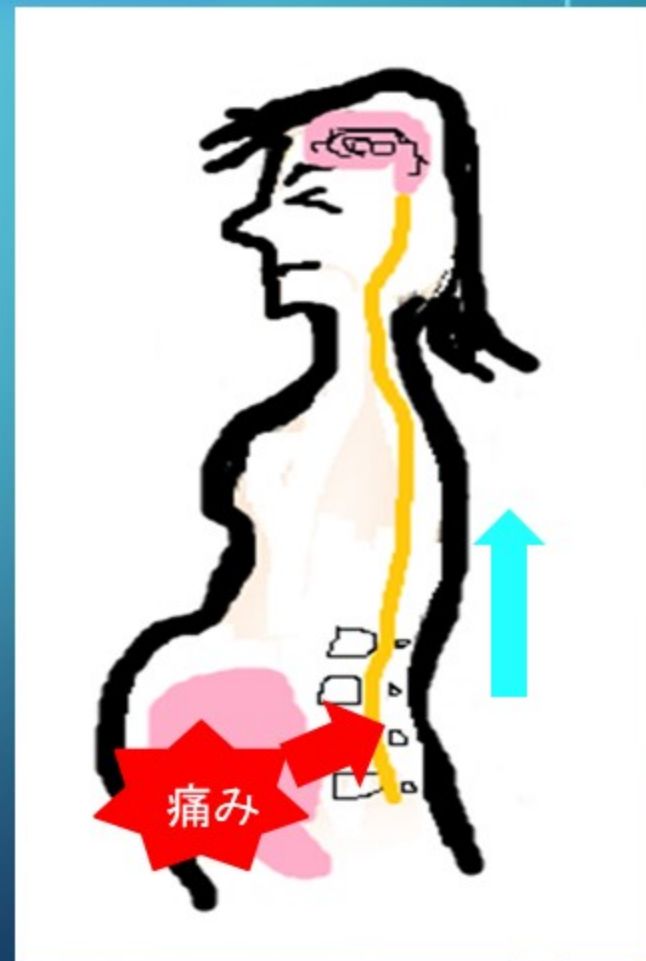
第2期には、膣と外陰部が伸展し、その刺激が脊髄、脳へと伝わって

下腹部から外陰部の痛みも感じるようになります。



## 無痛分娩（硬膜外麻酔）、和痛分娩の違い

- 陣痛の痛みは子宮の周りの神経から脊髄という背中の神経の束に伝わり、脳に伝わります。
- 無痛分娩は脊髄から脳までの回路(→)を、
- 和痛分娩は子宮周囲から脊髄までの回路(→)をそれぞれ遮断することで、痛みを和らげています。



## 無痛分娩はできないの？

- いわゆる無痛分娩を行うには、硬膜外麻酔を行い、その後定期的に血圧などの全身状態を評価したり、合併症の有無を評価する必要があります。
- そのため、より安全に行うためには無痛分娩の麻酔担当医師に産科麻酔に熟練した麻酔科医の常駐が必要ですが、人員体制から当院では難しい状態です。

よって、産科医の手でなんとかお産の痛みを和らげられないかと取り入れたのが**和痛分娩**です。



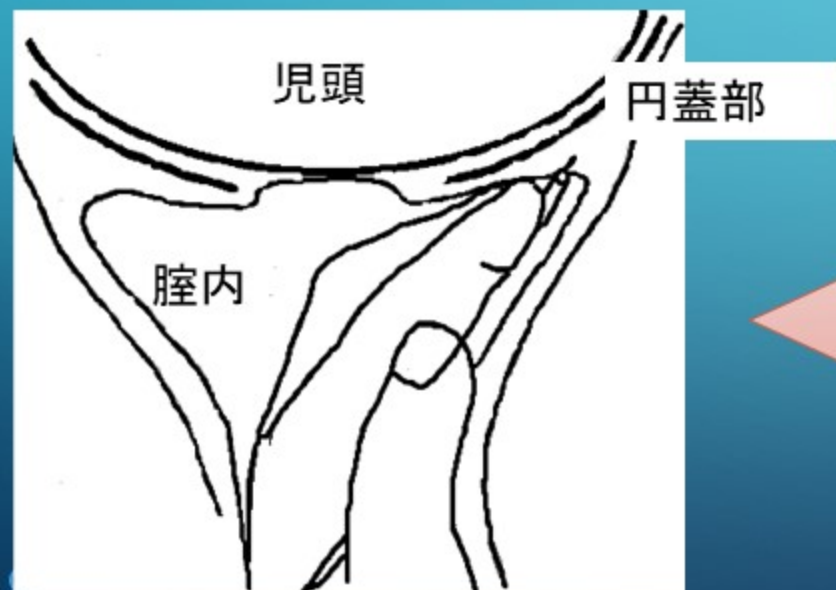
# 和痛分娩の方法

- 和痛分娩は行う場所により下の2つに分けられます。

ぼうけいかん

## 【 傍頸管ブロック 】

麻酔薬を左右の腔円蓋の  
粘膜直下に投与



いんぶしんけい

## 【 陰部神経ブロック 】

麻酔薬を左右の坐骨棘付近  
の粘膜直下に投与



どちらも  
お産の時の  
内診と同じ  
要領で行い  
ます。

## いつ、どんなときに行うの？

- 傍頸管ブロックは、およそ子宮口5-6cm開大した時に、
- 陰部神経ブロックは、およそ子宮口全開大した時に、  
それぞれ行います。

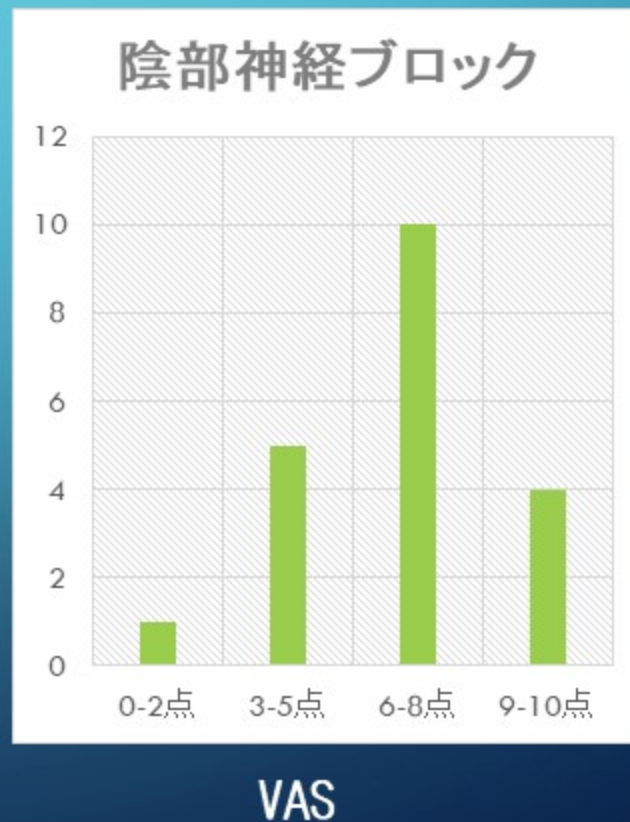
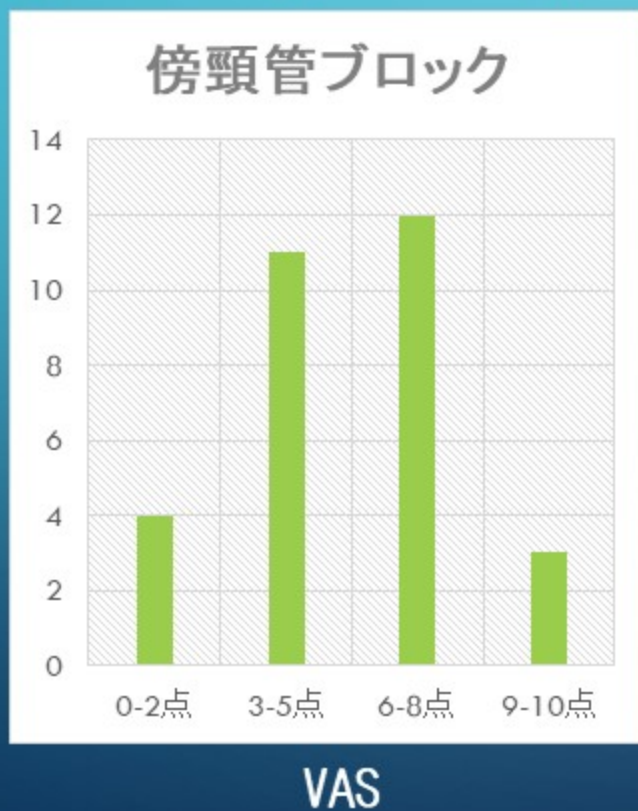


- 全員ではなく、もともとご希望される方や、陣痛による痛みが  
耐え難い方で同意を得られた場合に行います。

# 効果はどれくらいあるの？

- 痛みは0にはできませんが、VAS(一番痛い時を10とした時の現在の痛み)というスコアが、15分後には半分以下になった方が半数程度でした。(2018年)

人数  
(人)





## 効果はどれくらいあるの？

- 効く時間は個人差があるのと、陣痛もだんだん強くなるので難しいですが、30分～2時間程度効く印象です。
- 体の中から完全になくなるのには時間がかかるので、2回目までは最低3時間は空けて使用します。



## 費用は？

- 当院では、和痛分娩に使用する薬剤（1%カルボカイン）の薬剤料や使用する針の料金のみをいただいておりますので、1500円前後です。
- 詳しくは当院で再度確認してみてください。

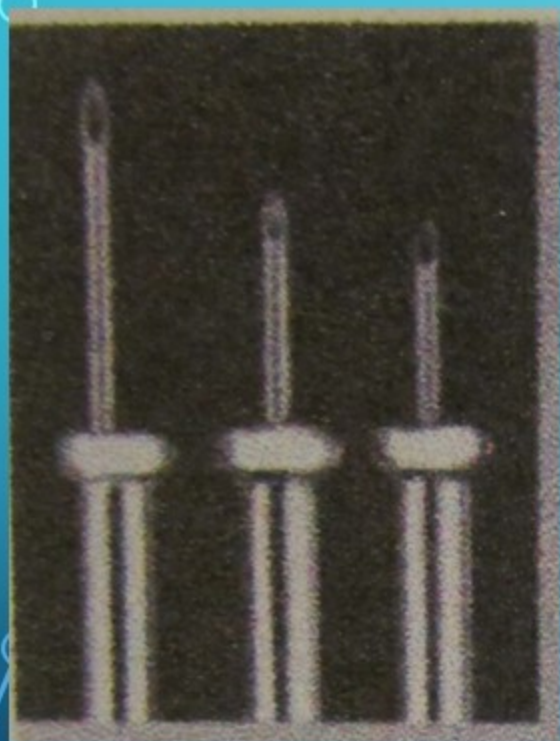


## どうしてあまり普及してないの？

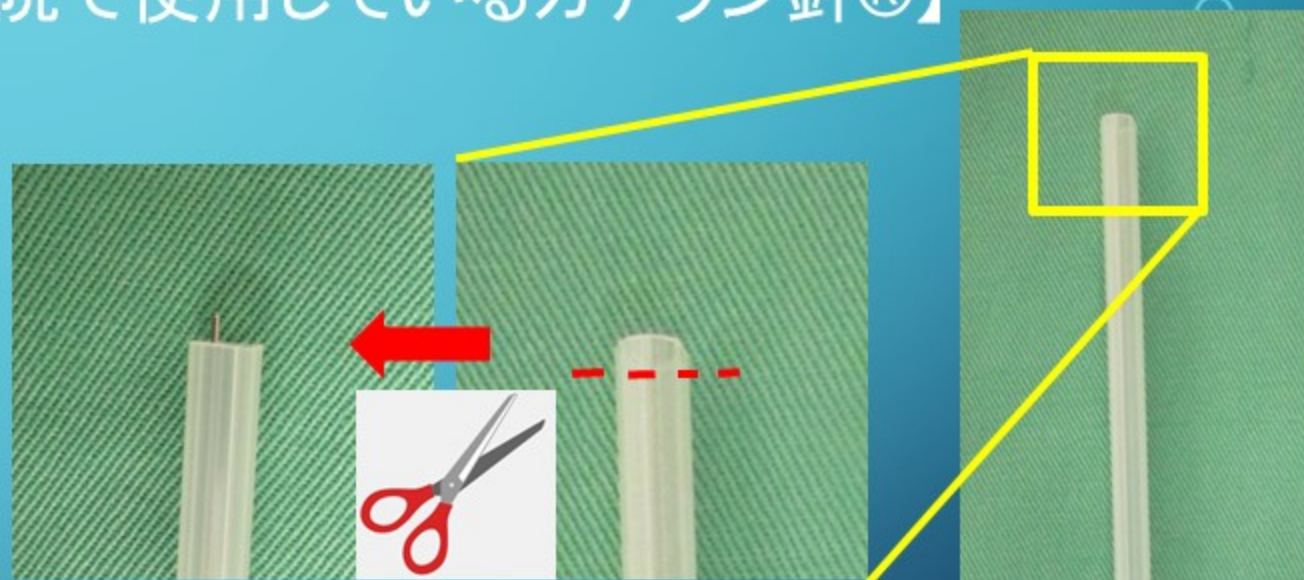
- ・和痛分娩は1900年初頭にヨーロッパではじまり、本邦でも1950年代頃には急激に普及した産科麻酔のひとつですが、1970年代後半に胎児徐脈が高頻度に出現することが報告され、避けられるようになりました。
- ・当院で使用しているカルボカインにも、「傍頸管ブロックにより胎児の徐脈を引き起こすおそれがある」という一文が書かれていますが、その原因として、問題となった1970年代にはKoback針というすごく太く長い針を用いていたせいと考えられています。
- ・そこで当院では聖隷三方原病院の宇津先生らが考案した、カテラン針®を用いたブロック方法を用いて和痛分娩を行っており、現在まで、ブロックが原因と考えられる有害事象は認めておりません。

# 針の違い

【koback針】



【当院で使用しているカテラン針®】



先端をカットして使用

太さも一目瞭然ですが…

特に針が長いことで、奥深くの血管などに刺さってしまい有害事象が起これると考えられるので、長くならないように工夫しています。

## ほかにデメリットは？



- 局所麻酔中毒

麻酔薬が血管の中に入ってしまったたり、使用量が多くなりすぎてしまうと、不整脈などの様々な副作用が起こる可能性があります。

- アレルギー

麻酔薬もお薬ですので、人によってはアレルギー反応が出る場合があります。

どちらも起こらないように細心の注意を払って行いますが、万が一生じた場合には迅速に対応いたします。

## まとめ

- 私が当院での和痛分娩のデータを解析したのは2018年であり、そのころよりもさらに数を重ねていますが、合併症は認めていません。
- 針の工夫だけでなく、我々産婦人科医も熟達していますので、効果がしっかり出る患者さんの数も増えてきている気がしています。
- コロナウイルス感染症のために立ち会い分娩が出来ず、よりお産に対するネガティブなイメージが強まるかもしれませんが、痛みに耐え難い時には和痛分娩のことを思い出していただけるとお役に立てるかもしれません。

